

令和7年度 第3回 関東地方整備局事業評価監視委員会 審議結果

1. 日 時 令和7年10月9日(木) 15:00~17:00
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館14階「災害対策本部室」
3. 開催方式 対面・Web会議併用
4. 出席者

[委員長]

久保田 尚 (埼玉大学名誉教授・日本大学客員教授)

[委員]

小笠原 正豊 (東京電機大学未来科学部建築学科教授)
後藤 玲子 (茨城大学人文社会科学部法律経済学科教授)
清水 繁 (東京商工会議所地域振興部長)
鈴木 崇之 (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授)
竹内 智子 (千葉大学大学院園芸学研究院准教授)
原 珠里 (東京農業大学国際食料情報学部国際食農科学科教授)
二村 真理子 (東京女子大学現代教養学部経済経営学科教授)
若井 明彦 (群馬大学大学院理工学府物質・環境部門教授)

(敬称略、五十音順)

[特別委員]

小根山 裕之 (東日本高速道路株式会社事業評価監視委員会委員)
原田 峻平 (中日本高速道路株式会社事業評価監視委員会委員)

[関東地方整備局]

局長 橋本、副局長 森、副局長 増田、企画部長 田中、道路部長 河村、営繕部長 中山、
環境調整官 森

[東日本高速道路株式会社]

建設事業本部副本部長 兼 建設部長 加藤、関東支社長 松坂、関東支社建設事業部長 宮野

[中日本高速道路株式会社]

建設企画本部建設企画部長 塩梅、東京支社長 荒井、東京支社建設事業部長 古田

5. 審議結果

1) 再評価

- ・対応方針（原案）の審議（全3件）
- ・事務局が説明した再評価対象事業2件は、対応方針（原案）の通り了承された。
- ・再評価対象事業1件（東京外かく環状道路（関越～東名））については、次回の委員会で引き続き審議を行うものとする。

<評価対象事業>

事業区分	事業名	事業主体	対応方針 (原案)	審議 結果	委員からの主な意見
港湾	東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル整備事業	関東地方整備局	継続	了承	・特になし。
道路	一般国道6号 大和田拡幅	関東地方整備局	継続	了承	・特になし。

2) 事後評価

- ・対応方針（案）の審議（全2件）
- ・事務局が説明した事後評価対象事業2件は、対応方針（案）の通り了承された。

<評価対象事業>

事業区分	事業名	事業主体	対応方針（案）	審議 結果	委員からの主な意見
営繕	富士川地方合同庁舎	関東地方整備局	今後の事業評価の必要性：なし 改善措置の必要性：なし	了承	・駐車場の満空状況は定量的に数値化できるものと思うので、アンケートのみではなく、利用状況をモニタリングすることも考えられるのではないかと思います。 ・都市緑地法基本方針により国は市街地において緑被率3割以上を目指すこととされたことも踏まえ、国の施設は特に見本となるよう、緑化に努めていただきたい。
営繕	横浜地方合同庁舎	関東地方整備局	今後の事業評価の必要性：なし 改善措置の必要性：なし	了承	・特になし。